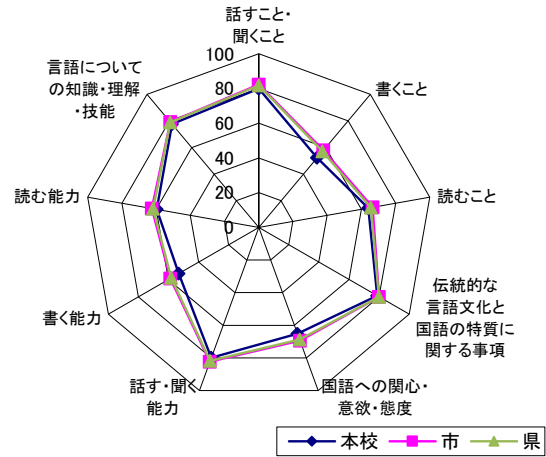


宇都宮市立陽南中学校 第2学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

| 分類 | 区分 | 本年度 | | |
|-----|----------------------|------|------|------|
| | | 本校 | 市 | 県 |
| 領域等 | 話すこと・聞くこと | 79.9 | 82.3 | 81.8 |
| | 書くこと | 52.3 | 58.0 | 57.2 |
| | 読むこと | 64.0 | 66.6 | 65.6 |
| | 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | 78.8 | 80.0 | 79.9 |
| 観点 | 国語への関心・意欲・態度 | 65.2 | 69.4 | 68.8 |
| | 話す・聞く能力 | 79.9 | 82.3 | 81.8 |
| | 書く能力 | 53.2 | 58.8 | 58.1 |
| | 読む能力 | 59.6 | 62.5 | 61.7 |
| | 言語についての知識・理解・技能 | 77.7 | 79.2 | 79.1 |



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

| 分類・区分 | 本年度の状況 | 今後の指導の重点 |
|----------------------|---|---|
| 話すこと・聞くこと | 平均正答率が県の平均を1.9ポイント下回っている。 ○話の内容を正確に聞き取る問題では、正答率が88.4ポイントだった。話の内容を正確に聞き取り、理解する力はあるといえる。 ●相手の発言を注意して聞いて、自分の考えをまとめる問題では、68.8ポイントと正答率が一番低かった。聞き取る力はあるが、そこから自分の考えを持ち、まとめることについては不十分である。 | ・日頃の授業において自分の考えをもたせ、それを書く機会をつくる。また、授業の振り返りをワークシートやノートに書かせることで、自分の考えをまとめる力を身に付けさせる。 ・発表・司会の仕方などのプレゼンテーションの方法を指導し、基本的な話し方・聞き方の練習をする。 |
| 書くこと | 平均正答率が県の平均を4.9ポイント下回っている。 ○読み取った内容を明確にして書く問題では、正答率が72.5ポイントだった。読み取った内容を正確に理解し、書く力があるといえる。 ●伝えたい事実や事柄について自分の考えを明確にして書く問題では、正答率が17.4ポイントと低く、さらに無回答が54.1ポイントであるため、自分の考えを書くことに対して苦手である。 | ・自分の考えを書くことを苦手と感じているので、普段の授業の中で、意見や考え、授業の感想や疑問に思ったことなどを短い文章で書く機会を作り、自分の考えを短文で書く練習を意図的に設定する。 ・スタンダードダイアリーを活用し、毎日その日の出来事や思ったこと、感じたことなどを書く習慣を身に付けさせる。 |
| 読むこと | 平均正答率が県の平均の1.6ポイント下回っている。 ○文章の表現の特徴を捉える問題では、75.2ポイントだった。文章中の表現の特徴を捉え、理解する力があるといえる。 ●文章の展開を捉えて、その内容を整理する問題では、県の平均を5.4ポイント下回っており、文章をまとまりで読むことが苦手である。 | ・普段の授業で、文学的文章の展開を捉えるための場面分けの方法や説明的文章の構成の確認を重点的に指導する。 ・短い文章を要約させる活動を取り入れ、文章の内容を理解する力を身に付けさせる。 |
| 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | 平均正答率が県の平均の1.1ポイント下回っている。 ○文節の関係について理解している問題では、県の平均を5.0ポイント上回り、文法に関する問題の基礎を理解できているといえる。 ●小学校で学習した漢字を書く問題では、県の平均を下回っている問題が多く見受けられた。今まで学習した漢字がしっかりと定着していないといえる。 | ・漢字を確実に定着させるために、正確な形と書き方、読み方をしっかりと学習する機会を作り、基本的な知識を身に付けさせる。また、間違えやすい漢字の事例なども挙げて、間違えたまま覚えないように留意する。 |
| | | |